



表1 構成栄養系の由来

由来 栄養系No	由来品種・ 系統名	栄養系数
4	Saratoga	4
7	Saratoga	2
15	アイカップ	4
25	アイカップ	3
36	北見5号	3
	合計	16

表2-1 生育特性（調査年次は平成15、16年、但し褐斑病罹病程度は平成14～16年）

品種名	出穂始 ¹⁾	出穂 ¹⁾	褐斑病	混播栽培 ³⁾	越冬性 ¹⁾	耐寒性 ²⁾	採取量 ³⁾
	(月日)	程度 (1-9極多)	罹病程度 ¹⁾ (1-9甚)	乾物収量 (kg/a)	マメ科率 (%)	(1-9極良)	(kg/a)
フーレップ	6.5	3.4	2.5	146.7	45.2	6.0	中
アイカップ	6.5	3.3	3.2	135.9	48.6	5.4	中

注 1)系統適応性検定試験。2)特性検定試験。3)育成場での特性検定。

表2-2 収量性（平成15、16年の平均年合計乾物収量の「アイカップ」比(%)）

品種名	北見農試	天北農試	根釧農試	道立畜試	北農試	平均
フーレップ	104	114	100	111	110	108
アイカップ	76.3	88.8	82.0	79.0	68.2	78.9

注「アイカップ」は実数(kg/a)

表3 品質特性（1番草、調査年次は平成15、16年）

品種名	粗蛋白質 (%)	ADF (%)	NDF (%)	推定TDN (%)
フーレップ	12.4	33.3	61.4	65.1
アイカップ	12.2	33.4	61.6	65.3

注) ADF:酸性デタージェント繊維、NDF:中性デタージェント繊維、TDN:可消化養分総量